



## 一般社団法人 静岡県安全運転管理協会

### 各地区安管協会の活動紹介

#### 「交通死亡事故現場診断」を実施（令和4年10～11月）

浜松東地区、掛川地区の各安全運転管理協会は、それぞれ地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この10月～11月にかけて、管轄警察署の「死亡事故現場診断」に参加し、事故防止対策を協議しました。

#### 【浜松東地区】

10月26日（水）、浜松東警察署の呼び掛けで、浜松市役所、警察署協議会委員、地元自治会、交通安全協会浜松東地区支部等の交通関係団体とともに、浜松東地区安全運転管理協会から小川会長と事務局長、会員事業所「秀盛機工（株）」「（株）前島電気工業社」「菱和設備（株）」の安全運転管理者等計5人が参加、合計33人により

9月25日（日）深夜、浜松市東区植松長地先の市道で発生した交通死亡事故（普通乗用車と歩行者との衝突事故、歩行者の73歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、道路が斜めに交差する信号機のない交差点で、参加者による現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 街灯がなく夜間の視認性が低いので、街灯の設置を検討
- 道路外側線が消滅して交差点が分かりにくいため、道路標示の引き直し
- 歩行者に対する反射材着用の呼び掛け等関係団体による広報啓発の実施など、活発な意見が出されました。



【浜松東署員から事故状況の説明】



【現場診断の状況】

## 【 掛 川 地 区 】

11月24日(木)、掛川警察署の呼び掛けで、掛川市役所、袋井土木事務所、交通安全協会掛川地区支部等の関係団体とともに、掛川地区安全運転管理協会から事務局長が参加、合計14人により、

①9月22日(木) 早朝、掛川市西大淵地先の国道150号で発生した交通死亡事故  
(普通乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の77歳男性が死亡)

②10月8日(土) 夜間、掛川市大坂地先の市道で発生した交通死亡事故  
(普通乗用車と歩行者との衝突事故、歩行者の60歳男性が死亡)

の事故現場診断を行いました。

この2件の事故現場は、いずれも片側1車線の見通しの良い直線道路で、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、2件とも歩行者と乗用車の衝突事故のため

○ 車両対策として、直線道路で速度が出やすいため、減速を促す注意看板設置や夜間のハイビーム活用について広報活動を推進

○ 歩行者対策として、反射材の着用促進と歩行中の安全確保のため「しずおか安全横断3つの柱」の浸透を図る交通安全指導を推進

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【 ① 西 大 淵 地 先 に お け る  
事 故 現 場 診 断 の 状 況 】

【 ② 大 坂 地 先 に お け る  
事 故 現 場 診 断 の 状 況 】

